

事例1：四日市電機株式会社（センサ診断システムの事業化に対応する知財戦略の構築）

新事業創出

知財権活用

ブランディング強化

知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

開発したTEVセンサを組み込んだ診断システムの事業化を進める

- TEV(Transient Earth Voltage, 過渡接地電圧)センサ診断システム事業の知財戦略が構築されていない。
- 事業を展開するためのブランド戦略を検討する。

ハンズ
オン
支援

TEVセンサ診断システム事業の知財戦略を理解して実践することを目指す
訪問支援：3回

専門家によるハンズオン支援

- ▶ 事業状況の確認、事業化における知財リスクの抽出（1回目）
- ▶ TEVセンサ診断システムの特許出願戦略等の助言(2回目)
- ▶ TEVセンサのブランド化の検討（3回目）

結果
・
成果

事業化における知財リスクを確認し、TEVセンサの知財戦略の方向性を明確化

今後の取組課題

- ✓ TEVセンサの特許出願を行い、システムメーカー、製造委託先と協働して診断システムの開発を進める。
- ✓ センサ商品のブランド化及び商標、意匠の活用について検討する。

取組の詳細

- TEVセンサ診断システムの事業化への取り組み状況を確認
- 海外企業との技術ライセンス契約、開発者の競業禁止義務、システムメーカーとの共同開発に関する知財リスク等を抽出
- 技術ライセンス契約への対応、競業禁止義務についての対応、TEVセンサ診断システムの特許出願戦略について助言
- 商品ブランド、企業ブランドの取り組み方について説明
- TEVセンサ商品のブランド化を進めること、商標と意匠を有効に活用することを助言



企業の声

TEVセンサ診断システムの事業化に際し、支援専門家の的確な助言を基に、特許出願前に、知財戦略を中心に据えた事業戦略を検討することが出来た。この結果、特許出願内容、範囲など、知財戦略を踏まえたものとなり、事業化が一段と進めやすくなったことが、大きな成果であった。ブランド化については、当社の知見がない助言が得られ、今後具体化に向けて取り組む際の方向性が見えてきた。

企業概要

業種	電気工事業、電気通信工事業				
住所	三重県四日市	URL	https://www.yotsuden.jp/		
創業	1947年1月	従業員数	24人	資本金	3,000万円

支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁護士・弁理士（3）
同行専門家
ブランド専門家（1）
知財総合支援窓口（3）